

再評価調書

事業名	大和川水系 甘南備川 通常砂防事業			
所在地	富田林市甘南備			
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防施設の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。		
	内容	砂防えん堤 1基 堤高 9.5m 堤長 36.0m		
	事業費	全体事業費：約3.0億円(約3.0億円) うち投資済事業費：約2.0億円 (内訳)用地費約1.5億円(約1.5億円) (内訳)用地費約1.48億円 工事費約1.5億円(約1.5億円) 工事費約0.54億円 ()内の数値は計画時点のもの		
		【計画時点の事業費との変動理由】 なし		
	維持管理費	-		
	上位計画	大阪府都市基盤整備中期計画(案)		
	関連事業	なし		
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析 【完成予定の変更理由】
		事業採択年度：H8 事業着手年度：H8 完成予定年度：H13	事業採択年度：H8 事業着手年度：H8 完成予定年度：H22	用地交渉が難航し、本工事の着工が遅れるため
	進捗状況		(平成17年度末) 用地：99% 工事：36%	
	途中段階の整備効果発現状況			
	事業進捗に関する課題	特になし		

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		災害発生の危険度 渓岸侵食や山腹崩壊などにより流出した不安定な土砂が、流域の渓床には多く堆積しており、洪水時に流出する恐れがある。 H8年 保全対象戸数 5戸 道路 100m 橋梁 2橋 耕地 0.24ha	同左 H17年 保全対象戸数 5戸 道路 100m 橋梁 2橋 耕地 0.24ha	諸状況に変化なし
	地元等の協力体制	地元の要望を受けて事業に着手。防災事業として認識されており、事業に対する全面的な協力を得た。	左同	

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。		<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 1 . 7 7 便益総額 B = 5 0 3 (百万円) 総費用 C = 2 8 4 (百万円) 算出根拠 国土交通省河川部砂防部(H10)「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」 	
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	土砂災害による被害の軽減が図れる	・受益者など 地域住民	変更点特になし	
	活力				
	快適性	溪流沿いの管理用通路を散策道として利用できる。	・周辺住民	変更点特になし	
	その他				
自然環境等への影響と対策		砂防えん堤により、溪床、溪岸の侵食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。		変更点特になし	
その他特記すべき事項					